

2025年7月31日

各 位

株式会社北洋銀行

株式会社北海道共創パートナーズ

社会福祉法人清光園様の『SDGsコンサルティング』のご利用について

北洋銀行（取締役頭取 津山 博恒）と子会社の株式会社北海道共創パートナーズ（代表取締役社長 岩崎 俊一郎）は、お客さまのSDGs経営への取り組みを支援するため「SDGsコンサルティング」を提供しています。今般、社会福祉法人清光園様（北海道夕張市、理事長 中條 俊博様）が本サポートを利用し『サステナビリティ経営方針』を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

近年、社会的にSDGsへの取り組みに対する関心が高まっており、企業イメージの向上や新たな事業機会の創出につながることから、多くの企業がSDGsへの取り組みを推進しています。

北洋銀行グループは今後も、北海道の地域金融機関として道内のSDGs促進・普及に貢献するために、お客さまのSDGsへの取り組みを支援してまいります。

記

会社概要

会 社 名	社会福祉法人清光園
所 在 地	夕張市南清水沢1丁目55番地1
代 表 者	理事長 中條 俊博
業 種	社会福祉サービス業

※サステナビリティ経営方針の詳細は別紙をご参照ください。

以 上

《北洋銀行グループ サステナビリティ方針》

北洋銀行グループは「経営理念」と「行動規範」に基づく企業活動を通じて、当行グループを支えていただいている全てのステークホルダーと地域社会・環境の持続的発展に貢献するとともに、当行グループの中長期的な企業価値の向上と持続的経営の実現に努めます。

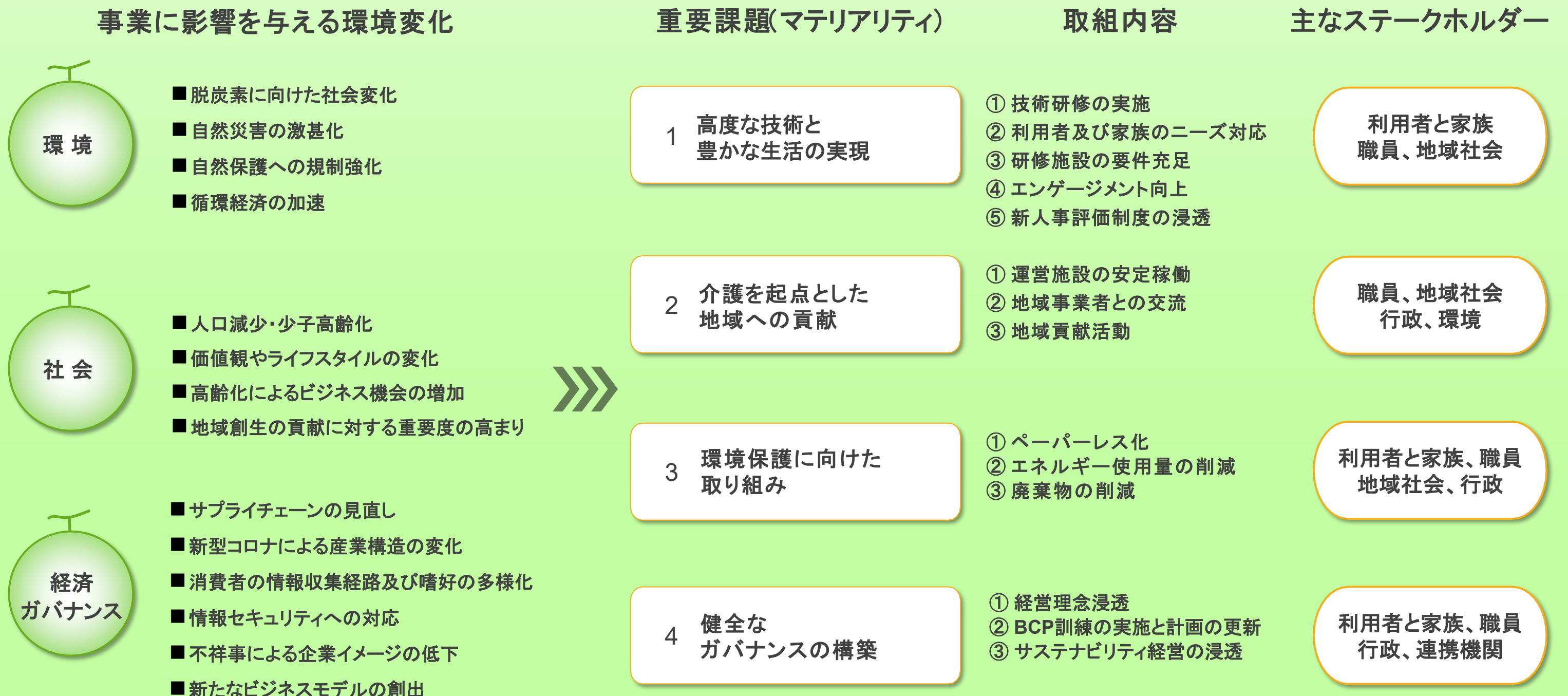
サステナビリティ経営方針

～ここから、これから、街と街、人と人をつなぐ～

夕張市の歴史と共に歩みを進め、社会福祉法人として50年という大きな節目を迎えました。
「ここから これから」の信念のもと、街と街、人と人をつなぐ役割を果たし、持続可能な福祉サービスの提供に努め、地域をリードしてまいります。

経営理念

ひとをつなぐ
こころをつなぐ
みらいへつなぐ



サステナビリティ経営への取り組み

社会福祉法人 清光園

SDGs達成とマテリアリティへの取り組み

経済・社会・ガバナンス



当法人は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当法人が将来にわたって事業活動を継続するために重要な課題をマテリアリティと定め、重点テーマを設定しております。

重点テーマの取り組みを通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。

2025年7月 社会福祉法人清光園

利用者さま・ご家族さま、行政・各団体との連携強化を図り、スピード感を持った対応を基本姿勢とし、新たなビジネスモデルを創出することで、南空知におけるプレゼンスの向上を図ってまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- 利用者のニーズに応じたケアプランの提案
 - 利用者のQOL向上に向けた質の高いサービスの提供
 - 利用者と家族へのわかりやすい説明の徹底
- バイタルケア・エンゼルケア
 - 資格取得の推奨制度
 - スムーズな入退所支援
- プライバシーポリシーの制定
 - 処遇改善加算の公表
 - 女性職員の積極的な登用

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題(マテリアリティ)	取組内容	目標・KPI
高度な技術と豊かな生活の実現	技術研修の実施	■ 毎年2回以上、人材教育・スキルアップ研修を実施する。
	利用者及び家族のニーズ対応	■ 2026年3月までに入浴用リフトを全ユニットに導入する。 ■ 2026年4月以降、各事業所における利用者及び家族へのニーズ調査を行い、調査結果の分析と改善を図る。
	研修施設の要件充足	■ 2025年度以降においても、ユニットリーダー実施研修施設の要件を充足する。
	エンゲージメント向上	■ 2030年まで職員一人あたり残業時間を毎年10%削減する。 ■ 2026年度末までに有給休暇の取得率を70%とする。 ■ 2025年以降、毎年の離職率を5%以内とする。 ■ 2026年3月までに、被服費・ユニフォームの見直しを行う。
	新人事評価制度の浸透	■ 2025年4月以降、考課規程の理解を深める勉強会を定期的に開催する。 ■ 2025年4月以降、職員の特性や能力、希望を考慮すべく、1on1を1か月に1回実施する。

重要課題(マテリアリティ)	取組内容	目標・KPI
健全なガバナンスの構築	経営理念浸透	■ 2025年4月から職員全員に対し、経営理念浸透の説明会を年に1回以上開催する。
	BCP訓練の実施と計画の更新	■ 2025年以降、年に1回以上事業継続計画（BCP）に対し、実践訓練と計画の更新を実施する。
	サステナビリティ経営の浸透	■ 毎年、サステナビリティ経営方針に基づく目標・KPIの進捗状況を全職員で共有し、次年度以降の取り組みの見直しを行う。

サステナビリティ経営への取り組み

社会福祉法人 清光園

SDGs達成とマテリアリティへの取り組み

環境



フードロスの削減や、ペーパーレス化の推進、エネルギー使用量の削減等に取り組むことで、環境負荷低減に貢献してまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- 食材の適切な在庫管理
- ペーパーレス化の推進
- 省エネへの取組み(LED等)
- 水使用量の削減
- 不在居室の消灯

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題(マテリアリティ)	取組内容	目標・KPI
環境保護に向けた取り組み	ペーパーレス化	■ 2027年4月までに、コピー用紙購入量を100,000枚に削減する。
	エネルギー使用量の削減	■ 2027年4月までに、電気使用量を360,000kwhまで削減する。
		■ 2028年3月までに、省エネ設備を導入する。(氷蓄熱システム・ヒートポンプシステムなど)
		■ 2030年3月までに、フードマイレージの削減を行う。(2023年比30%削減を目指す)
	廃棄物の削減	■ 2026年4月以降、利用者の余暇活動において、廃棄物を活用した製品製作を年4回行う。
		■ 2030年3月までに、使用済み紙オムツのリサイクル設備の導入を行う。
		■ 2030年4月以降、フードロスを2025年比50%に削減する。

当法人は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けた積極的な取り組みを行ってまいります。

また、環境問題、労働負荷や人権問題など企業を取り巻く社会課題のうち、当法人が将来にわたって事業活動を継続するために重要な課題をマテリアリティと定め、重点テーマを設定しております。
重点テーマの取り組みを通じて、経営のリスクを回避し、イノベーション創出の機会を捉えてまいります。
2025年7月 社会福祉法人清光園

地域・社会



夕張市を中心に南空知地域との連携を活かし、「人與人」「地域と地域」を結びつけることで、地域包括ケアシステムの一翼を担ってまいります。

【SDGs達成に向けた具体的な取り組み】

- 他事業所との情報連携による信頼関係の構築
- 仕入先・外注先との情報連携
- SNSによるマーケット戦略
- 地元人材の積極採用

【マテリアリティに基づく取組内容とKPI】

重要課題(マテリアリティ)	取組内容	目標・KPI
介護を起点とした地域への貢献	運営施設の安定稼働	■ 夕張市における毎年の各施設の目標稼働率 特養:96%以上 GHまどか:96%以上 デイサービスすずらん:90%以上 シルバー共同住宅:98%以上 ■ 2026年4月から、栗山町デイサービスにおける延べ利用者数を1日平均20名以上とする。 ■ 2028年3月までに、栗山事業所地域カフェの稼働状況を1日平均25名以上とする。
	地域事業者との交流	■ 2025年4月以降、他法人との連携に向けた情報共有を年に2回実施する。 ■ 2026年3月までに介護福祉士教育機関と連携を図り、毎年延べ2名以上の介護実習生の受入を行う。 ■ 2027年4月から、地域の幼児施設、小学校と連携して交流イベント(レクリエーション)を開催する。
	地域貢献活動	■ 2025年4月から、地域の行事やボランティア活動に参加する。 ■ 2025年4月以降、毎年2回以上各種イベントにおけるキッチンカーの出店を行う。